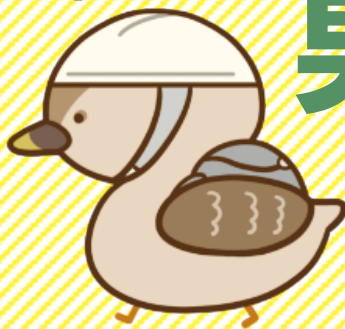




言葉から行動へ、配慮から参画へ、政策から実践へ

男女共同参画と防災

を考える情報紙



／あなたは、男女で災害から受ける影響に違いがあることを知っていますか？／

突然ですがクイズです・・・！！



Q. 東日本大震災後、睡眠障害が疑われたのは
男性よりも女性が多かった。



or



正解は裏面へ！

一緒に考えることから始めませんか？

男女共同参画×防災のメリット



女性リーダーの育成/男性への理解促進/意思決定の場への女性の参画など

平常時

- ・女性や若い世代の方が活動に参加しやすくなる
- ・要配慮者対策を強化することができる
- ・性別を理由とした役割分担意識が改善できる



災害時

- ・様々な立場の被災者が相談しやすくなり、
女性/育児/介護などのニーズが見つかりやすくなる
- ・受援力(※)が上がる

※困ったときに助けを求めることができる力。支援を上手く受け入れる力。

- ・生活目線での対応（環境/衛生面の改善）の質が上がる

～クイズの答え合わせ～

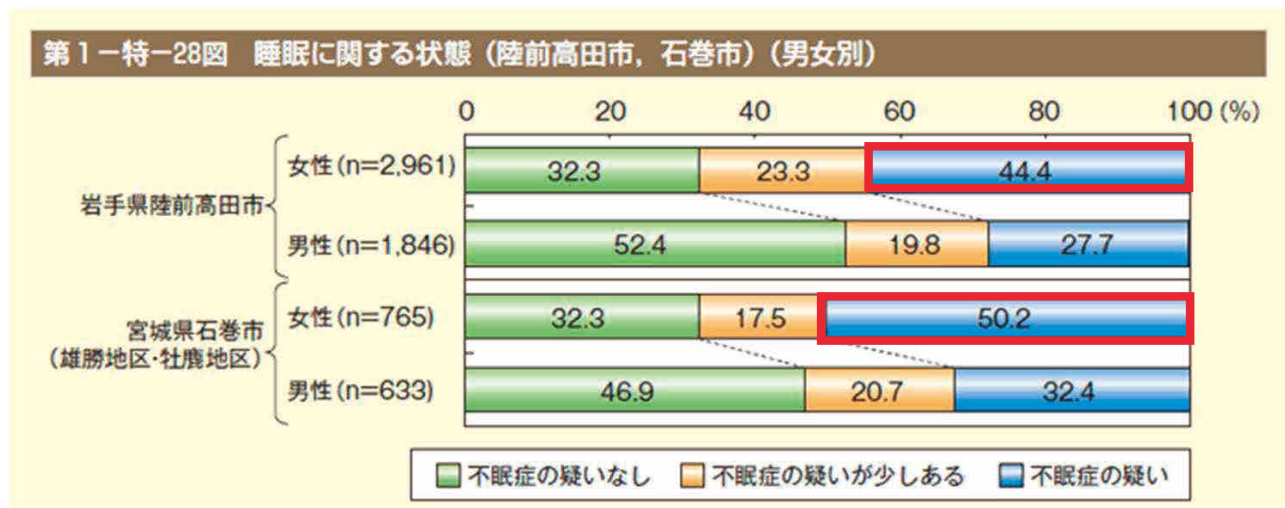
正解は



千葉ジェッツ
公式マスコットキャラクター
ジャンボくん

睡眠障害が強く疑われる者は、
陸前高田市では、女性44.4% 男性27.7%
石巻市では、女性50.2% 男性32.4% でした。

出典：「平成24年度版男女共同参画白書」内閣府



そのほか、避難所で女性たちは、「シャワーや入浴があまり出来ない」「プライバシーが確保されていない」「トイレの数が少ない」といったことに困っていました。
避難所の管理責任者の多くが男性で、避難所の運営に女性の声が届かない現状がありました。



災害時は社会課題が表面化します

平常時の社会課題

災害時

意思決定の場に女性が少ない/いない



災害対応や復旧・復興で女性の意見やニーズが反映されず、必要な支援・物資が提供されない

性別を理由とした役割分担意識が強い



避難所の運営で男性がリーダー、女性は炊き出しなど、特定の役割が片方の性別に偏る

防災分野における女性の参画促進好事例集、女性が力を発揮するこれからの地域防災のノウハウ・活動事例集等を内閣府のホームページにてご覧いただけます。



／平常時にできないことは、災害時には尚更できません／

「男性中心型の防災」から
「**男女共同参画**」の視点からの**防災**
に変えていきましょう

